

ベトナムの女性人身取引 Le Thi さん (ベトナム)

ベトナム女性が人身取引され、中国や台湾、韓国、カンボジアその他の国へ連れていかれており、そのことに多くの国民が義憤を感じています。中には 12~3 才の少女も含まれる若い女性たちが密売業者にだまされては海外に連れて行かれ、売春宿や、買春目的の男たちに売られています。

全国統計はありませんが、国内紙が多く和省で被害が発生していると公表しています。例えば、ランソン省で 1 万人、クアンニン省でも 1 万人の女性が、国境を接する中国に人身取引で連れ出されています。The Youth 紙には、ホーチミン市出身の女性や少女 1 万人が中国やカンボジアの売春宿や男性相手に売られている、とあります。タイニン、アンジャン、ドンタップの各省でも多くの女性があっせん業者にだまされてカンボジアに連れて行かれ、売春を強要されています。カントー省やトットノー地区では、地元女性が外国人（多くの場合、台湾や韓国の）男性と「結婚」しているという報告もあります。実際、農村部では教養が低く経験に乏しい多くの女性が、高給で条件のいい仕事を持ちかけるあっせん業者の口車にたやすく乗せられ外国行きを承諾しています。こうした女性たちは国外に出るや否や、売春宿か、安値の買春目的の男たちに売り飛ばされます。クアンニン、ランソンの両省では、「買い物に行く」あるいは「販売店員になる」ために、中国国境近くの市場まで業者について行った多くの若い女性が、中国の売春宿や、自分の「妻」や奴隷になるよう強制する男たちに売り渡されています。

女性人身取引のもう一つの形態に、ベトナム女性と外国人男性を対象とした「結婚」組織があります。ほとんどの場合、外国人男性が希望の女性を選び、あっせん業者と値段を交渉して金銭を支払います。数日後には結婚式が行なわれ、花嫁は花婿の国に行きます。このような「結婚」ではほとんどの場合、花嫁は花婿の手で即座に売り飛ばされます。売られる先は売春宿か、または、病気の老人、身体や精神に障害がある者のように自国では妻をめとることが難しい男性たちのところへです。

ベトナムではこのような女性・子どもの人身取引を阻止する取組みを行っています。

1. 国家機関があっせん業者を追及、厳しく処罰する。
2. 女性が警戒心を持ちあっせん業者にだまされないように教育するプログラムがさまざまな組織によって開発されている。
3. 貧困家庭の生活状況を改善することで娘を売る風潮を妨げ、飢えの根絶と貧困軽減のための活動が増えている。
4. 脱出して帰って来た被害女性が仕事を見つけて普通の生活が送れるよう、しかるべき援助をする。